

8月4日：混迷する市場、苦戦を強いられる

木曜日の各指数は、リスク資産の需要に売り圧力が働き、異なる動きを見せた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.35%高の1254.15ポイントで取引を終えた。朝方は売りが多く入ったことで指数を押し下げた。

上昇銘柄数が上回ったが、流動性は依然として低かった。

出来高は7億2475万株で17兆ドン（7億2,680万米ドル）が取引された。

VN指数は、ベトコムバンク（VCB）を含むいくつかの主要銘柄が上値を釣り上げた結果、下落トレンドから逃れ、4日続伸となった。

VN30指数も0.62%高の1277.73ポイントで引けた。採用銘柄30銘柄のうちの16銘柄は上昇し、11銘柄が下落した。

VIETSTOCKのデータによると、銀行・不動産セクターは堅調で、最も値上がりしたのはベトコムバンク（VCB）の3.77%高、それに次いでビンホームズ（VHM）、ノブランド（NVL）、ベカメックス IDC（BCM）、VPバンク（VPB）がそれぞれ1.4%～3.02%増加した。ペトロリメックス（PLX）、FPTグループ（FPT）、モバイルワールド（MWG）も1.5%以上増加し、好調であった。

しかし、エネルギー・工業株に持続的な売りが入ったことで、上値は抑えられた。

最も値下がりした銘柄はペトロベトナムガス（GAS）2.68%安で、次いでマサングループ（MSN）とサイゴンビール（SAB）が1.9%～2.6%安であった。

サイゴンハノイ証券のアナリストによると、VN指数は短期的な売り圧力により、力強い上値抵抗線である1,255ポイント～1,260ポイント近辺で引き続き混迷すると予想される。

長期的な目線で見ると、経済成長が維持される中、バリュエーションはここ数年と比べて低水準にあり、市場は割安といえる。

一方で、ハノイ取引所では、HNX指数が0.13%安の297.73ポイントで取引を終えた。出来高はおよそ9,520万株で、売買代金にして約1.8兆ドンであった。

外国人投資家にはホーチミン取引所では 598 億ドンが買われたが、ハノイ取引所では 168.4 億ドンが売られ、低水準で推移している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。